

知的障害男性の1500万円詐取か

奈良県警 容疑で男女数人捜査

知的障害を持つ男性(44)を大阪・北新地などの飲食店に連れ回し、代金を支払わせたとして、奈良県警が、若い男女数人を詐欺容疑などで捜査していることが、わかった。男性は十分に判断できないまま男女に金を渡した可能性があるという。男性の口座からは、25年間の工場勤務でためた約1500万円が引き出されており、県警が経緯を調べている。

飲食店に連れ回したがる

弁護士の支援を得た男性が昨年10月、判断能力の低下に乘じて金銭を得る詐欺容疑で、男女数人を氏名

不詳のまま告訴。捜査関係者によると、県警は告訴を受理し、男女の特定を進め

告訴状によると、男性は大阪府東大阪市に住んでいた2014年8月下旬、休日を訪れたJR奈良駅近く

で客引きの女に誘われてスナックに入店。女と、店内にいた複数の男とともにカールズバーに移動し、明け方まで同席させられたとい

う。男女からは計4回にわたる「飲食費が必要」と要求され、コンビニエンスストアのATM(現金自動預け

払い機)で引き出した計約80万円を渡した。

男性はその後も同10月中旬まで男らに何度も携帯電話で呼び出され、奈良市や

大阪・ミナミ、北新地のバーや焼き肉店などに連れ回された。その都度、男らに言われるままにATMで計約1420万円を出金し、渡したという。

降連絡は途絶えたという。男性は一人暮らしで、給与の大半をこつこつとためてきたが、障害の影響で他人の要求を断れない傾向があるという。

男性は東大阪市の工具製

2人はその場から逃げ、以

男性は読売新聞の取材に

男性は10歳代前半の頃から身寄りがなく、福祉施設で暮らしながら特別支援学校に通い、卒業後は25年間工場で働いてきた。

仕事ぶり 高評価

当時から面倒を見続けていた支援学校の男性元教員(61)によると、男性には中程度の知的障害と自閉傾向があった。職場では部品の組み立て作業に従事。複数種類の作業をそつなくこなし、仕事ぶりは高い評価を受けていた。趣味は休日の外出。しかし、今回、そこで被害に遭った。

特別支援学校元教員「許せない」

男女らに呼び出されるようになったからは仕事でのミスも多くなったという。元教員は「慣れない付き合いで疲れ、混乱していたのではないかと話す。男性は自ら生活費を管理していたが、被害後は成年後見制度の補助人に委ねられるようになった。携帯番号も変え、会社の上司らの勧めでグループホームに入所するなど、暮らしがりは一変してしまっ

「酒を飲まされて疲れ、支払いも嫌だった。男たちを捕まえてほしい」と話している。